

08年キックオフミーティング

チアーズ合口葉に

富士鋳油グループ 来年も発展へ意欲

富士鋳油グループ(園木章夫社長)は、2008年キックオフミーティングを、十二月五日午後二時三十分から「ロイヤルパークホテル」(東京都中央区蠣殻町)で開催した。

富士鋳油グループは、日々の営業活動において「チアーズスタイル」お客様の期待以上の満足を実現」に取り組んでおり「チアーズ」が言葉になっているが、さらに昨年「安全・安心」を加え「進化」した「チアーズスタイル」を提案している。本年の「キックオフミーティング」は、その取り組み状況を説明することをメインとしており、園木社長が「チアーズスタイル2008」を力強く説明し、来年も「チアーズスタイル」での発展に意欲を示した。園木社長は定例となっている「本年を振り返って」を、ニュースビデオを写しながら、得意の二



会場ロビーのPRコーナー



新年度の方針を説明する園木章夫社長

ユース解説を行った。続いて「進化」した「チアーズスタイル」の取り組み状況と、「チアーズスタイル2008」の説明が行われた。

園木章夫・富士鋳油社長は、企業に対して、長年のあいさつ「平素は格別のご高配を賜りありがとうございます」とついでに、本年も昨年引き続き、食品の表示改ざん等の虚偽、隠蔽など、企業のコンプライアンスの欠如による不祥事が次々と明るみになりまして、また、ガス器具や家電製品の不具合、建築構造計算の偽造、エレベーターのトラブルなど、ここ一、二年繰り返して報告されています。さらに、七月の新潟県中越沖地震で発生した柏崎刈羽原子力発電所の火災などは、これまで疑うことがなかった事象や設備について、安全への信頼を根幹から揺るがす出来事として社会に衝撃を与え、安全確保や保安の重要性についての認識を改めさせることとなりました。これら本年のさまざまな出来事を振り返ると、「社会は、企業に対して、法令順守はもちろんのこと、従来以上に商品やサービスに関する安全を期待し、要求している」とを十分認識しなければいけないと痛感します。私たち富士鋳油グループの主力商品であるガス体エネルギー(LPG)ガス・天然ガスは、環境に優しい高効率のエネルギーですが、一方、高カロリー可燃物であるため「危険物」として万全の安全確保を要求されています。私たちは、創業以来、この安全確保を心がけてきたという考えを貫いてまいりました。お客さまにとって、保安が確保されていることは当然のことであり、「安全であれば良い」は、「事業者論理」であることを常に認識しています。お客さまが求めているのは、「安全を超えた安心」であり、保安面や料金、供給やサービスに不安を感じることはない状態だと考えています。私たちグループでは、お客さまの信頼を獲得するためのさまざまな取り組みを「チアーズスタイル」と名づけ、グループ一丸となってその実践に努めています。チアーズスタイルとは、お客さまの期待以上の「満足」を実現し、お客さまの信頼の絆(きずな)を確かなものにしていくための姿勢であり行動です。「安全を超えた安心」もまた、お客さまの期待以上の「満足」を実現することであり、法令に定められた以上の各種内部規律/ルールの順守も、チアーズスタイルの実践です。これらの観点から、二〇〇七年の当社の事業を振り返り、二〇〇八年の営業施策と事業の考え方について、次のとおりお

客さまにご報告申し上げます。お客さま、お取引先さまにおかれましては、以上の富士鋳油グループの基本方針を、ご理解賜り、倍旧のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。